

資料1-1

分野	活り	計画/中長期実行プラン2023目標工程	対象設備・作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月以降	備考							
				10	17	24	1	8	15	22	29	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下										
●プロセス主建屋 (PMB)、高温焼却建屋 (HTI) の滞留水処理	建屋内滞留水		【1~4号機 滞留水移送装置】 (実績) ・1~4号機滞留水移送装置運転 (予定) ・1~4号機滞留水移送装置運転	現場作業	1~4号機滞留水移送装置設置 運転																														(継続運転)	
				設計・検討	α核種除去設備検討																														(2024年度 工事完了予定)	
				設計・検討	【1~4号機 T/B床面スラッジ等の回収方法検討】																														(2024年度 設計完了予定)	
				設計・検討	【滞留水一時貯留タンク設計】																														(2024年度 工事完了予定)	建屋滞留水一時貯留タンク設備の設置に係る実施計画変更 (2023年7月6日申請)
				容器封入 集積作業	【プロセス主建屋・高温焼却建屋セオライト土壌の検討】																														(2024年度以降 集積封入作業着手予定) (2023年度内 集積作業着手予定)	容器封入作業 実績モックアップ (2022年10月~) 容器封入作業 実施計画変更 (2023年3月31日申請) 実績作業 (2023年度内~)
●汚染水発生量を 100m3/日以下に抑制(2025年内) ●汚染水発生量を 50~70m3/日程度に抑制(2028年度末)	浄化設備		【低圧多核種除去設備】 【高性能多核種除去設備】 【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業	処理運転(処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																														(継続運転)	処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 増設多核種除去設備 前処理設備改造に係る実施計画変更申請 (2022年4月28日認可) 工事 実施中 2023年度内運用開始予定
				現場作業	サブドレン浄化設備																														(継続運転)	サブドレン汲み上げ、運用開始 (2015年9月3日~) 排水開始 (2015年9月14日~) 5/6号機サブドレンの復旧・汲み上げ・運用開始 (2022年3月~)
				現場作業	【地下水バイパス設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転																														(継続運転)	
				現場作業	【セシウム吸着装置】 【第二セシウム吸着装置】 【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転																														(継続運転)	
				現場作業	【RO-3】 【建屋内RO 循環設備】 (実績) ・運転 (予定) ・運転																														(継続運転)	淡水化装置 (RO-1、RO-2) 撤去 2023年5月23日: 工事開始 (2024年3月竣工: 工事完了予定) 建屋内RO処理水移送配管の造設に係る実施計画変更 (2023年6月2日申請)
陸側還水壁			(実績・予定) ・未凍結箇所補助工法は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現場作業	維持管理運転(北側、南側の一部 2017/5/22~、海側の一部 2017/11/13~、海側全域・山側の一部 2018/3/14~、山側全域2019/2/21完了)																														(継続運転)	
				現場作業	【凍土壁内フェーシング (全6万m ²)】 ・3号機建屋西側																															3号機建屋西側: 2024年2月完了予定
				現場作業	(実績・予定) ・12箇所の調査実施 (2023)																														(2023年12月調査完了予定)	
				現場作業	サブドレンNo40周辺 PCB含有絶縁油拡散抑制対策																														(2023年9月 20日工事完了)	ガレキ撤去後の高線量、及び不明埋設物の調査・切断作業の追加による約2ヶ月の遅れに 対して、線量低減対策の効果により8月末の完了(1ヶ月の遅れ)を見込んだが、更なる 緩やかに低減の追加措置の実施などにより、9月20日完了
				現場作業	5号機建屋間ギャップ 凍部止水対策																															前孔開始: 2023年5月22日 2024年1月完了予定 (天候、試験結果により工程は見直し可能性がある)

水処理設備の運転状況、運転計画
(2023年10月20日～2023年11月16日)

2023年11月3日
東京電力ホールディングス株式会社

既設多核種除去設備

	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
A	計画停止			点検停止																								
B	計画停止			点検停止			計画停止		点検停止		←→						計画停止			点検停止		←→						
C	←→		計画停止	←→							計画停止	←→		計画停止			点検停止		←→						計画停止			

増設多核種除去設備

	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
A	点検停止																											
B	点検停止																											
C	点検停止																											

高性能多核種除去設備

	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)
A	計画停止																											

セシウム吸着装置(KURION), 第二セシウム吸着装置(SARRY), 第三セシウム吸着装置(SARRY2)

	20(金)	21(土)	22(日)	23(月)	24(火)	25(水)	26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)	1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)	8(水)	9(木)	10(金)	11(土)	12(日)	13(月)	14(火)	15(水)	16(木)			
SARRY	計画停止			←→		計画停止		点検停止	計画停止		点検停止	計画停止			←→				点検停止		←→										
SARRY2	計画停止					←→		点検停止	←→						計画停止			点検停止		計画停止											
KURION	計画停止											点検停止		計画停止																	

※ 現場状況を踏まえて運転するため、計画を変更する場合があります。

各エリア別タンク一覧

1～4号機用汚染水貯蔵タンク

タンク基数、水位、貯蔵量、実容量集約日 2023年10月19日

エリア	基数	1基あたり容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	H水位 (mm)	H容量/基 =実容量/基 (m3)	0%以下 貯蔵量 (m3)	0%以上 貯蔵量(m3)	実容量 (m3)	水位管理				放射能濃度(Bq/cc)						測定時期	概略 使用開始時期	
										水位(%) (最大値)	スロッシング 考慮(%)	HANN (%)	HHANN (%)	Cs-134	Cs-137	Co-60	Mn-54	Sb-125	Ru-106			Sr-90
B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	13674	1297	約20	12882	12975	97.1	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.12		
	27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13272	682	約30	18350	18413	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.10		
B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13674	1297	約10	9101	9082	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.10		
D	19	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	12936	1004	約190	7102	19078	52.6	95	88.7	90	1.4E+00	5.4E+00	8.2E-02	<1.9E-02	3.1E+00	<3.5E-01	4.4E+01	H27.3	H26.8
	12	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	12936	1004	約140	5659	12049	84.3	95	88.7	90	タンクの分析は未実施						R1.11		
E	1	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	濃縮塩水	9880	1054	約100		1089	2.4	95	96.3	98.9	2.7E+00	8.6E+00	3.0E+00	1.4E+00	3.7E+01	1.3E+01	3.8E+04	H27.2	H24.8
G1	66	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10796	1322	約160	87191	87244	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						R1.11		
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	11920	1130	約20	9051	9042	97.7	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.4		
	15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	13664	1296	約30	19402	19442	97.7	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.4		
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	9400	1069	約50	25635	25652	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H25.4		
G3西	39	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設) ^{※1,2}	9400	1012	約90	39298	39466	92.2	100	92.5	93.8	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H25.10		
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設) ^{※2}	9400	1069	約10	6374	6413	97.1	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						R2.3		
G4北	6	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10794	1322	約10	3966	3966	97.7	100	97.7	99	タンクの分析は未実施						R4.7		
G4南	26	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10796	1322	約60	34385	34369	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						R2.3		
G5	17	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10796	1322	約40	20547	22472	97.9	100	97.7	99	タンクの分析は未実施						R5.4		
G6	38	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	13674	1297	約70	49054	49303	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H31.4		
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	13415	690	約10	6905	6898	97.8	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H26.12		
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	10539	1190	約140	69971	74969	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H27.3		
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10539	1190	約50	28510	28560	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H28.4		
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	11330	2331	約180	102469	102569	97.7	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H28.10		
H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10796	1322	約20	13205	13219	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.11		
H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10366	1169	約80	40812	40931	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H29.7		
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13190	1034	約20	13424	13424	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H29.12		
	38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	13010	1112	約70	42169	42249	97.6	100	97.7	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.4		
H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	10368	1169	約70	37473	37423	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.9		
H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10368	1169	約20	12873	12864	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.8		
H6(II)	24	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10796	1322	約60	31614	31725	97.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H30.12		
H8北	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 ^{※2}	9477	1069	約0	2116	2138	96.7	100	97.7	99	1.3E-01	5.7E-01	2.7E-01	3.6E-02	6.4E+00	-	2.2E+02	H27.3	H25.4
	3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	9477	1069	約10	1257	3207	38.3	100	97.7	99	1.3E-01	5.7E-01	2.7E-01	3.6E-02	6.4E+00	-	2.2E+02	H27.3	H25.4
H8南	9	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 ^{※2}	9477	1069	約20	9565	9620	97.4	100	97.7	99	タンクの分析は未実施						現在未使用中		
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	9477	1069	約0	19	2138	1.7	100	97.7	99	<5.1E-02	1.2E-01	2.1E-01	2.0E-02	3.8E+00	2.9E-01	9.1E+01	H27.3	H25.4
J1	98	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設) ^{※1,2}	9477	1069	約220	104210	104746	97.9	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H26.1		
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	9477	1069	約0	1045	2138	95.5	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}								
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	12151	2500	約170	104079	104999	97.0	99	97.2	98.5	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H26.9		
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	12101	2490	約90	54580	54773	96.7	99	96.8	98.1	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H26.10		
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	12604	2829	約130	84893	84882	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H26.10		
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	11926	1131	約10	5651	5657	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H28.2		
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	12001	1137	約70	39711	39789	92.1	94	92.2	93.5	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H26.8		
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10366	1169	約90	44424	44431	97.7	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H26.12		
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	10366	1169	約100	48979	49108	97.5	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H27.9		
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	10747	682	約10	6128	6138	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H28.4		
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	10747	682	約20	8196	8183	98.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H28.11		
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	10366	1169	約30	1048	14031	12.4	99	97.6	98.9	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H27.1		
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設) ^{※2}	11926	1131	約20	11295	11314	97.6	100	97.7	99	タンクの分析は未実施						R3.7		
K2	28	1057	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設) ^{※2}	12780	1032	約40	28790	28888	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H28.7		
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	13280	683	約10	8187	8195	97.6	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H28.4		
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	12410	972	約50	17577	34024	97.0	100	97.7	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H28.8		
多核種除去 設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	9750	1103	約0	397	4411	16.4	100	97.5	99	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H25.3		
高性能多核 種除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	12630	1199	約0	876	3598	52.0	100	98.4	99.6	— ^{※4}						H26.10		
増設多核種 除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	12630	1199	約0	886	3598	61.1	100	98.4	99.6	添付「タンク群毎の放射能濃度実測値」参照 ^{※3}						H26.9		
D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	12936	1002	約120	7314	10041	81.9	95	88.7	90	タンクの分析は未実施						H26.8		
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	—	—	—	246	281	89	—	93	96.5	タンクの分析は未実施						H23.8		

赤字はアウトオブサービス済の基数

※実容量には、タンク底部から水位計0%の水量(DS分)を含まない。

下線部は今回の変更箇所

※1 濃縮塩水/Sr処理水等を貯留した実績あり(G3西及びJ1の一部)

※2 Sr処理水等を貯蔵した実績のあるタンクを再利用したものを含む 再利用した基数 G3西:30、G3北:6、H8北:2、H8南:9、J1:8、K1南:10、K2:26

※3 多核種除去設備処理済水(ALPS処理水等)の放射能濃度について、当社「処理水ポータルサイト」に掲載のデータを参照(3ヶ月毎にデータ更新)

処理水ポータルサイトのURLは以下のとおりです。①ALPS処理水等の状況⇒「貯蔵タンクエリア毎の放射能濃度を詳しくみる」を順にクリックすると、分析結果が表示されます。

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/>

※4 多核種除去設備、高性能多核種除去設備、増設多核種除去設備のサンプルタンクは貯留用タンクではなく水の入れ替わりがあることから、分析対象外とする。

汚染水等構内溜まり水の状況 (2023.10.19時点)

リスク締点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上屋】 Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)		
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約1,200 (2023.9.14時点)	Cs-134: 2.9E0 Cs-137: 9.7E1 (2022.7.12)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留	
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約8,100 (2023.9.14時点)	Cs-134: 7.7E0 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)	5・6号建屋滞留水・RO濃縮水を貯留	
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)		
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	【蒸発濃縮装置濃縮水】 Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 全β: 4.7E8 (2011.12.20)	蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を実測して算出	
9	5, 6号機逆洗弁ピット及び吐出弁ピット	・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 (2022.2.1)		
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)		
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)		
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上屋】 Cs-134: 2.8E1 Cs-137: 1.4E3 (2023.6.29) 全β: 4.4E1 (2020.7.29)	2.7E1 1.6E3 (2023.8.30)	
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2号機T/B上屋】 Cs-134: ND Cs-137: 4.5E1 (2023.6.29) 全β: 8.9E0 (2020.7.29)	ND 3.5E2 (2023.8.30)	
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 2.9E4 (2023.8.7) H-3: ND (2019.9.4)	1.3E4 (2023.10.3)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.2E4 (2023.8.8) H-3: ND (2019.9.4)	4.1E4 (2023.10.4)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 3.3E4 (2023.8.10) H-3: ND (2019.9.5)	4.2E4 (2023.10.6)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク域内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)		水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)		水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク域内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)		水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)

汚染水等構内溜まり水の状況 (2023.10.19時点)

リスク総点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
22	1-4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約1~100 (2023.1)	Cs-134: ND~1.9E2 Cs-137: 1.1E2~9.1E3 全β: 1.3E2~8.1E3 H-3: ND~5.0E2 (2023.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2022年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照	
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1,600 (2023.1)	Cs-134: ND Cs-137: 1.0E2 全β: 1.0E2 H-3: ND (2023.1)		
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約390 (2023.1)	Cs-134: ND Cs-137: 4.2E1 全β: 7.2E1 (2023.1)		
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約840 (2023.1)	Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)		
28	1-4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1~4号機周辺	約6~830 (2022.1)	Cs-134: ND~1.0E1 Cs-137: 1.1E1~2.5E2 全β: 1.9E1~2.5E2 H-3: ND (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照	
29	1~4号機サブドレンビット No.15.16(未復旧ビット)	・サブドレンビットNo.15,16	1~4号機周辺 「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134: 4.9E2 Cs-137: 2.8E4 全β: 3.4E4 H-3: ND (2023.7.8)	3.9E3 2.1E5 2.1E5 ND (2023.9.2)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディーブウェル含む)(未復旧ビット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺 「未復旧」	約15/ビット	【No.47,48】 Cs-134: ND~3.9E1 Cs-137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)		
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約5,220 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 8.2E1 Cs-137: 4.3E3 全β: 5.2E3 H-3: ND (2023.9.18)	3.4E2 1.7E4 2.0E4 ND (2023.10.16)	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2~4号機タービン建屋海側	約5,350 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 2.4E1 Cs-137: 1.1E3 全β: 1.5E3 H-3: ND (2023.9.18)	2.0E1 1.1E3 1.4E3 ND (2023.10.16)	
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3~4号機タービン建屋海側	約3,360 (2022.1)	Cs-134: 9.1E0 Cs-137: 5.2E2 全β: 5.5E2 H-3: 1.3E2 (2023.8.9)	1.5E1 5.5E2 7.4E2 8.8E1 (2023.9.13)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全γ放射能: 3.1E1 全β放射能: - (2014.5.23)		
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,180 (2023.9.13)	Cs-134: ND Cs-137: ND Co-60: 1.7E1 (2023.8.17)	ND ND 1.7E1 (2023.9.12)	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約2,290 (2023.9.13)	Cs-134: ND Cs-137: ND Co-60: ND (2023.8.15)	ND ND ND (2023.9.14)	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5・6号機ストームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,870 (2022.1)	Cs-134: ND~1.7E0 Cs-137: ND~5.1E1 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(2)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照	
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物揚場 西側	約15/ビット	Cs-134: 1.0E+1 Cs-137: 1.4E+1 Co-60: <6.0E-01 全γ放射能: 2.4E+1 (2012.1.18)		
42	集中ラド周りサブドレン	・集中ラド周りサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ビット	Cs-134: ND Cs-137: ND~5.8E1 (2023.9.20)	ND ND~4.9E1 (2023.10.18)	
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留	

汚染水等構内溜まり水の状況 (2023.10.19時点)

リスク締点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約6,700 (2023.9.14時点)	【5号機】 Cs-134: ND Cs-137: 8.8E-1 全β: ND H-3: ND (2023.8.28)	ND 1.4E0 ND ND (2023.9.19)	
					【6号機】 Cs-134: ND Cs-137: 9.1E-1 全β: ND H-3: ND (2023.7.19)	ND 1.8E0 ND ND (2023.9.20)	
46	排気筒ドレンサンピット	・1/2号排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺	約0.3 [※] <small>※適宜溜まり水の移送を実施</small>	Cs-134: 9.5E4 Cs-137: 5.4E6 全β: 4.8E6 (2023.7.26)	1.2E5 6.9E8 7.1E8 (2023.8.29)	2019.10.12以降、水位低下傾向が確認された。 (2019.11.27) 2022.3.29の調査で流入箇所を特定したことから、今後流入抑制対策を実施していく。 (2022.4.27) 更なる流入抑制対策としてサンピット近傍マンホール止水対策を2023年内に実施予定 (2023.10.26)
		・3/4号排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺	約2	Cs-134: 2.3E1 Cs-137: 7.0E2 全β: 1.0E3 (2023.3.29)		
		・5/6号排気筒ドレンサンピット	5/6号機周辺	約7.6 (2020.3.12)	Cs-134: ND Cs-137: 1.2E1 全β: 2.2E1 (2023.3.28)		
		・集中RW排気筒ドレンサンピット	1~4号機周辺	約10	Cs-134: ND Cs-137: 2.9E2 全β: 3.5E2 (2023.2.2)		
47	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	約200	Cs-134: ND Cs-137: 5.3E+1 全β: 4.8E+1 (2017.11.10)		

建屋内における残水等の状況について

No.	号機	建屋	対象エリア	区分	区分の判断日※1	運用目標値／基準値(mm)	測定頻度	今回			1回前			2回前			最終排水実績	排水計画	床面(mm)	水位計の有無	水位調整不可能予定時期	備考		
								確認日	水位	1回前との水位差(mm)	確認日	水位	2回前との水位差(mm)	確認日	水位	3回前との水位差(mm)								
1		T/B	電気マンホールNo.1	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3.023	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/4	測定下限値以下	-	2019/10/28	-	T.P. 1,743	無	完了済	
			電気マンホールNo.2	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 2.293	1回/月	2023/10/11	測定下限値以下	-		2023/10/4	T.P. 1,883	0	2023/9/26	T.P. 1,883	0	2023/10/11	-	T.P. 1,743	無	完了済	水位が安定しているため、測定周期を1回/週→1回/月に戻す。	
2		T/B	主油タンク室	排水完了エリア	2017/7/5	T.P. 3.463	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 3,443	無	完了済	
3		T/B	復水脱塩装置樹脂貯蔵タンク室	排水完了エリア	2017/7/27	T.P. 2.063	1回/3ヶ月	2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/4	測定下限値以下	-		2023/6/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 2,043	無	完了済	
4		T/B	ハウスボイラ室	排水完了エリア	2017/7/11	T.P. 2.250	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/27	測定下限値以下	-		2023/9/19	T.P. 1,123	10	2023/9/27	-	T.P. 943	有(露出)	完了済	水位が安定しているため、測定周期を1回/週→1回/月に戻す。
5		T/B	ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2017/7/19	T.P. 1.926	1回/月	2023/10/18	T.P. 613	0	2023/10/11	T.P. 613	0	2023/10/4	T.P. 613	0	2021/9/15	-	T.P. 543	有(露出)	完了済			
6		T/B	床ドレンサンブ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	1回/日	2023/10/4	T.P. -632	-		2023/9/7	T.P. -553	-		2023/7/6	T.P. -646	-	-	-	-	有	完了済	
7		T/B	機器ドレンサンブ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	1回/日	-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
8		T/B	復水ポンプ配管トレンチ	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	1回/日	2023/10/4	T.P. -54	-		2023/9/7	T.P. -17	-		2023/7/6	T.P. 30	-	-	-	T.P. -857	有	完了済	水位は仮設水位計にて計測
9		T/B	復水ポンプピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	1回/日	-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
			復水ポンプピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	1回/日	-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
			復水ポンプピット(C)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	1回/日	-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
			給水加熱器ドレンポンピット(A)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	1回/日	-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
10		T/B	給水加熱器ドレンポンピット(B)	床面以下に貯留する残水	2018/7/24	-	1回/日	-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
11		Rw/B	LDT室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済	
12		Rw/B	FSS室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/4	T.P. 4	0	2023/10/3	T.P. 4	-10	2023/9/12	T.P. 14	0	2023/10/3	-	T.P. -36	有(露出)	完了済			
13		Rw/B	OGS室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/4	測定下限値以下	-	-	-	T.P. -36	有(露出)	完了済	
14		Rw/B	床ドレンサンブ(A)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	1回/日	-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
15		Rw/B	床ドレンサンブ(B)	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	1回/日	-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
16		Rw/B	高電導度廃液サンブ	床面以下に貯留する残水	2019/4/22	-	1回/日	-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-		-	測定困難※3	-	-	-	-	無	完了済	
17		T/B	低圧復水ポンプエリア	建屋貯留水	-	-	-	-	測定困難※4	-		-	測定困難※4	-		-	測定困難※4	-	-	-	T.P. -1,752	無	-	復水器エリアと連通性有※2 (連通高さ:T.P.-1527mm)
18		T/B	C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/1/31	T.P. 1,599	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/5	測定下限値以下	-	2018/1/26	-	T.P. 448	無	完了済	
19		T/B	C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/1/18	T.P. 1,644	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/5	測定下限値以下	-	2018/1/15	-	T.P. 448	有(露出)	完了済	
20		T/B	パッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/26	T.P. 1,668	1回/月	2023/10/4	T.P. 508	0	2023/9/19	T.P. 508	0	2023/9/12	T.P. 508	10	2022/10/12	-	T.P. 448	有(露出)	完了済	水位が安定しているため、測定周期を1回/週→1回/月に戻す。		
21		T/B	スイッチギア室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/5	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済	
22		T/B	南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/5	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済	
23		T/B	CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/5	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済	
24		T/B	消火ポンプ室(水位計設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/5	測定下限値以下	-	2023/7/25	-	T.P. 448	有(露出)	完了済	
25		T/B	消火ポンプ室(ポンプ設置箇所)	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/11	測定下限値以下	-		2023/10/4	T.P. 478	0	2023/9/12	T.P. 478	0	2023/10/11	-	T.P. 448	無	完了済		
26		T/B	ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/4	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/5	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	有(露出)	完了済	
27		T/B	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/31	測定下限値以下	-		2018/1/31	測定下限値以下	-		43131	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 448	無	-	復水器エリアと連通性有※2
28		T/B	T/B地下階北東廊下 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2017/12/25	測定下限値以下	-		2017/12/25	測定下限値以下	-		43094	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	無	-	復水器エリアと連通性有※2
29		T/B	南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済	
30		T/B	CD室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済	
31		T/B	ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済	
32		T/B	ディーゼル発電機(B)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/6	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 463	有(露出)	完了済	
33		T/B	電気油圧式制御装置室	排水完了エリア	2018/2/2	T.P. 1,725	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/6	測定下限値以下	-	2019/6/14	-	T.P. 463	無	完了済	
34		T/B	消火ポンプ室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,644	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/21	測定下限値以下	-		2023/9/12	T.P. 514 mm	10	2023/9/21	-	T.P. 463	有(露出)	完了済	
35		T/B	パッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/20	T.P. 1,665	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/6	測定下限値以下	-	2020/10/6	-	T.P. 463	有(露出)	完了済	
36		T/B	C/Bエリア	建屋貯留水	-	-	1回/日	2023/10/6	測定下限値以下※6	-		2023/9/12	測定下限値以下※6	-		2023/8/9	測定下限値以下※6	-	2020/10/2	-	T.P. -1,737	有	完了済	継続した水位上昇を確認。 継続して排水する措置を実施済み。
37		T/B	C/B(バッテリー室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1,683	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/7	測定下限値以下	-	2018/1/24	-	T.P. 461	有(露出)	完了済	
38		T/B	C/B(電気品室)	排水完了エリア	2018/2/15	T.P. 1,636	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/7	測定下限値以下	-	2018/10/23	-	T.P. 461	有(露出)	完了済	
39		T/B	パッチ油タンク室	排水完了エリア	2018/3/23	T.P. 1,622	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/7	測定下限値以下	-	2020/10/14	-	T.P. 461	有(露出)	完了済	
40		T/B	M/Cエリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済	
41		T/B	南西エリア	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済	
42		T/B	ディーゼル発電機(A)室	排水完了エリア	2020/2/7	T.P. 1,400	1回/月	2023/10/6	測定下限値以下	-		2023/9/12	測定下限値以下	-		2023/9/7	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	有(露出)	完了済	
43		T/B	電気油圧式制御装置室 ※5	建屋貯留水	-	-	-	2018/1/12	測定下限値以下	-		2018/1/12	測定下限値以下	-		2018/1/12	測定下限値以下	-	-	-	T.P. 461	無	-	復水器エリアと連通性有※2

※1: 現状の滞留水水位より床面が低く、将来的な水位低下によって孤立すると想定されるエリアについては、運転上の制限(建屋滞留水<サブドレン水位)を満足する時期で調査を行い、区分分けするように計画する。

※2: 2018/3/8,2018/4/24 面談資料参照。

※3: 1号機タービン建屋は、現在、床ドレンサンブ内で水位管理を行っているため、T.P.443として管理(2018/4/6面談資料参照)。

※4: 連通のある復水器エリアは、連通高さ(T.P.-1527mm)以下にある床ドレンサンブで水位を制御しているため、連通高さを超えてから水位を記載する。

※5: 床面露出。中間地下階のため、再冠水の可能性は低い。

※6: 床面露出。床面(T.P.-1737mm)以下にあるスチームドレンサンブで水位を制御しているため、床面高さを超えてから水位を記載する。

2023/10/18 5:00 時点の各建屋水位

建屋	1号機			2号機			3号機			4号機		
	R/B	Rw/B	T/B※6	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B	R/B	Rw/B	T/B
滞留水の水位	T.P. -2.221	除去完了	除去完了	T.P. -2.811	除去完了	除去完了	T.P. -2.804	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了	除去完了
周辺サブドレン設定値	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650	T.P. -650

※6: 1号機T/Bの最下階の床レベル

各建屋地下エリアの滞留水貯留状況

最終更新：2020/2/8
東京電力ホールディングス株式会社

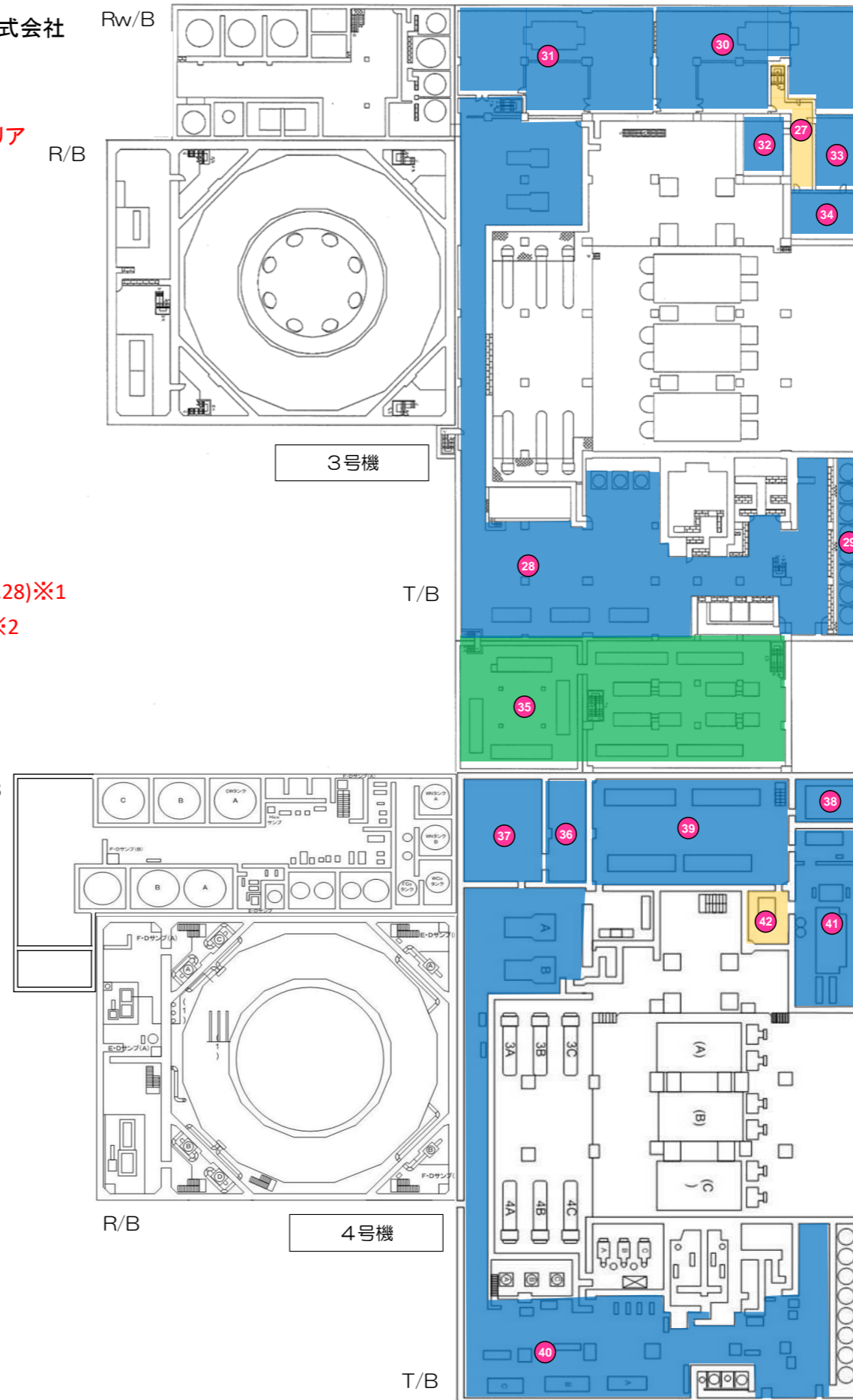
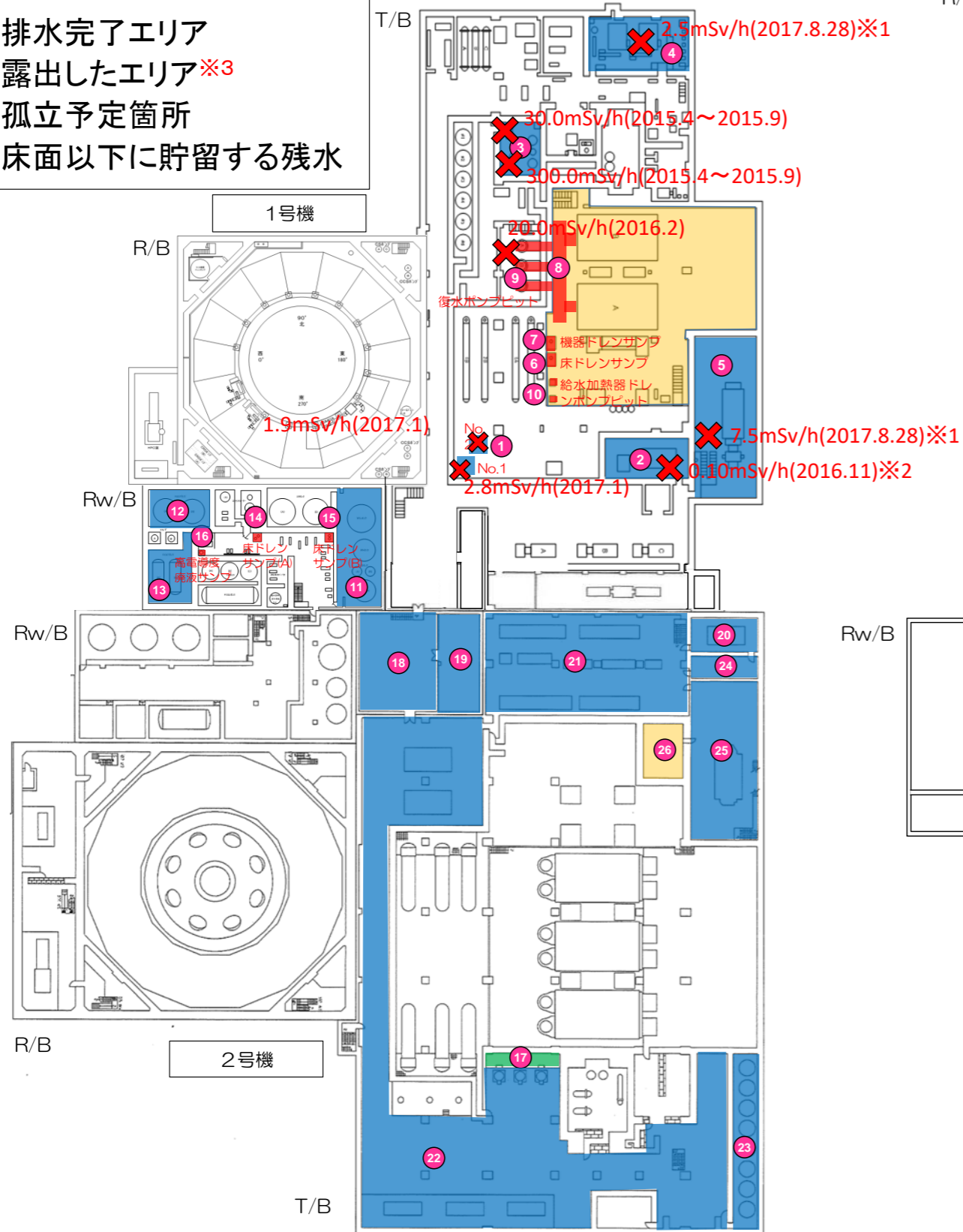
水位安定エリア等については線量測定が実施出来た場合、測定結果を記載している。

※1: 1階床面より3m程度挿入した箇所にて測定

※2: 作業エリアである1階床面で測定

※3: 孤立すると予想したエリアだが連通が確認されたため、建屋に滞留する滞留水のままと判断したエリア

- : 排水完了エリア
- : 露出したエリア※3
- : 孤立予定箇所
- : 床面以下に滞留する残水



福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1,2,3}	保管容量 ^{※1,2,3}	管理方法		主要 核種
							実施内容	頻度	
Ⅲ 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	<ul style="list-style-type: none"> 地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫 フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等） 設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等） 設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等） 工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等） 回収した土壌 	屋外	・屋外集積（～0.1mSv/h）	304,100 m ³ [+1,200 m ³]	397,900 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 人が容易に立ち入れないよう区画 巡視にて以下を確認 ①容器の点等、落下が無いこと ②養生シートに破れが無いこと ③その他異常が無いこと 空間線量率を測定し表示 覆土式一時保管施設について、槽内の溜まり水の有無を確認 	—	Cs-137 Cs-134 等 ^{※6}
				・シート養生（0.1～1mSv/h）	42,600 m ³ [-500 m ³]				
				・覆土式一時保管施設、容器収納（1mSv/h～30mSv/h）	16,400 m ³ [微増 m ³]				
			固体廃棄物 貯蔵庫	・容器収納	29,500 m ³ [-300 m ³]	39,600 m ³ (64,700 m ³)			
	瓦礫類の合計				392,500 m ³ [+400 m ³]	509,900 m ³ (535,100 m ³)		週1回	
	使用済 保護衣等	<ul style="list-style-type: none"> タイベック、下着類、ゴム手袋 その他保護衣、保護具 	屋外	・容器収納	21,500 m ³ [+700 m ³]	25,300 m ³ ^{※4}			
	伐採木	枝葉根	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m ³ [0 m ³]	41,600 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 伐採木一時保管槽における温度監視 伐採木の屋外集積にて以下を確認 ①煙、水蒸気、空気の揺らぎが無いこと ②濁り水（黒・茶色）が無いこと 	週1回 (6～9月週3回)	
				・屋外集積	2,300 m ³ [-100 m ³]	6,000 m ³			
		・幹根	53,800 m ³ [-2,500 m ³]	128,000 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 保管量の確認 保管容量が確保されていることを確認 	月1回			
		—	伐採木の合計		93,500 m ³ [-2,600 m ³]	175,600 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 空気中の放射性物質濃度を測定 	6ヶ月に1回 ^{※5}	
Ⅲ 第1編 40条 第2編 87条の3	水処理二次 廃棄物	凝集沈殿物	廃スラッジ 貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	446 m ³ [-23 m ³]	700 m ³	<ul style="list-style-type: none"> 免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視 	常時	
			使用済セシウム 吸着塔一時 保管施設	・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】 (最大約13mSv/h)	4,248 本 [+22 本]	4,384 本	<ul style="list-style-type: none"> 人が容易に立ち入れないよう区画 空間線量率を測定し表示 巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認 	—	
		・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】 (最大約23mSv/h)							
		・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備、サブドレン他浄化装置】（最大約1.2mSv/h）		410 本 [0 本]	584 本				
		・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）							
		吸着材（前置フィルタ含む）	・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、放水路浄化装置、浄化ユニット、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）	987 本 [0 本]	1,532 本	<ul style="list-style-type: none"> 貯蔵量の確認 貯蔵容量が確保されていることを確認 	週1回		
			・容器収納【モバイル型Sr除去装置】（最大約0.5mSv/h）						
		フィルタ	屋外	・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】 (最大約0.5mSv/h)	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様		
			固体廃棄物 貯蔵庫	・容器収納【サブドレン他浄化装置】					
		・RO装置のフィルタ類	屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）					
・樹脂	固体廃棄物 貯蔵庫	・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）							

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 ^{※1,2,3}	保管容量 ^{※1,2,3}	管理方法		主要 核種	
							実施内容	頻度		
III 第1編 38条 第2編 87条	放射性固体 廃棄物等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄物 貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	約 318,500 本 相当	・巡視による保管状況の確認 ・保管量の確認	月1回	Co-60 等	
				・その他	ドラム缶 10,155 本 相当					
				・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	ドラム缶 4,974 本 [+186 本] 相当					
		・制御棒	サイト バンカ	・水中保管	1,177 本 [0 本]	-	・巡視による保管状況の確認	月1回		
		・チャンネルボックス			9,818 本 [0 本]					
		・ヒューエルサポート			3 本 [0 本]					
		・中性子検出器			1,137 本 [0 本]					
		・その他 (シユラウド切断片等)			193 m ³ [0 m ³]					
		—			12,135 本 [0 本]					
		・イオン交換樹脂	タンク等	・タンク等に貯蔵	193 m ³ [0 m ³]	-	・保管量の確認	3ヶ月に1回		
		・造粒固化体			2,400 m ³ [0 m ³]					
		—			1,148 m ³ [0 m ³]					
		—	タンク等の合計		3,548 m ³ [0 m ³]		・貯蔵量の確認	3ヶ月に1回		
		・制御棒	使用済燃料 プール	・水中保管	271 本 [0 本]	-	・貯蔵状況の確認	タンクにより 異なる		
		・チャンネルボックス			10,056 本 [0 本]					
		・ポイズンカーテン			173 本 [0 本]					
		・ヒューエルサポート			54 本 [0 本]					
		・中性子検出器			375 本 [0 本]					
—	10,929 本 [0 本]									
—	瓦礫等	・回収した瓦礫等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生	—	5,900 m ³ [0 m ³]	・一時保管エリアで保管するための 準備として、分別作業やコンテナへの 収納作業を実施する場合に限り、 仮設集積を設定	—	Cs-134 Cs-137 等	
			建屋							・屋内集積、シート養生、容器収納、雨水等侵入防止養生
	水処理二次 廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	—	・容器収納、容器収納の上 シート養生						微量 m ³ [0 m ³]
	—									仮設集積の合計

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

ガレキの保管量の現状※1,2,7

保管形態	受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア 名称	保管容量	保管量	前回比	保管容量合計	保管量合計	2023年度末 想定保管量
屋外集積 (~0.1mSv/h)	≦バックグラウンド線量率	EE1	8,600 m ³	1,000 m ³	+400 m ³	397,900 m ³	304,100 m ³	355,600 m ³
	≦0.001	AA	58,000 m ³	27,700 m ³	+500 m ³			
	≦0.005	A2	9,500 m ³	- m ³ ※8	- m ³ ※8			
		J	6,300 m ³	6,100 m ³	0 m ³			
		DD1	4,100 m ³	1,100 m ³	-200 m ³			
		DD2	6,800 m ³	2,100 m ³	+300 m ³			
		EE2	6,300 m ³	2,200 m ³	+1,000 m ³			
		l	7,200 m ³	0 m ³	0 m ³			
	≦0.01	A1	4,300 m ³	2,200 m ³	0 m ³			
		B	5,300 m ³	5,300 m ³	0 m ³			
		BB	44,800 m ³	44,700 m ³	微増 m ³			
		k	9,500 m ³	1,500 m ³	+400 m ³			
	≦0.02	D	2,700 m ³	2,600 m ³	0 m ³			
	≦0.028	U	800 m ³	700 m ³	0 m ³			
	≦0.1	C	67,000 m ³	66,600 m ³	微増 m ³			
		F1	700 m ³	600 m ³	0 m ³			
		F2	6,400 m ³	5,000 m ³	-300 m ³			
		N	9,700 m ³	9,600 m ³	0 m ³			
		O	44,100 m ³	44,000 m ³	0 m ³			
		P1	62,700 m ³	55,500 m ³	-1,000 m ³			
V		6,000 m ³	6,000 m ³	0 m ³				
CC		18,800 m ³	11,700 m ³	-400 m ³				
d		1,900 m ³	1,600 m ³	+400 m ³				
e		6,700 m ³	6,200 m ³	微減 m ³				
シート養生 (0.1~1mSv/h)	≦1	E1	16,000 m ³	13,000 m ³	-400 m ³	55,300 m ³	42,600 m ³	62,300 m ³
		P2	6,700 m ³	6,000 m ³	0 m ³			
		W	11,600 m ³	9,100 m ³	微増 m ³			
		X	7,900 m ³	6,600 m ³	-500 m ³			
		m	4,400 m ³	1,900 m ³	+500 m ³			
		n	8,700 m ³	5,900 m ³	-100 m ³			
覆土式一時保管施設、容器収納 (1mSv/h~30mSv/h)	≦2	E2	1,200 m ³	400 m ³	微増 m ³	17,200 m ³	16,400 m ³	28,000 m ³
	≦30	L	16,000 m ³	16,000 m ³	0 m ³			

※1 各数値は以下の時点のデータを示している。

- 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木の保管量及び保管容量 : 2023年9月30日 現在
- 水処理二次廃棄物の保管量及び保管容量 : 2023年10月5日 現在
- 固体廃棄物貯蔵庫保管の放射性固体廃棄物の保管量及び保管容量 : 2023年9月30日 現在
- 固体廃棄物貯蔵庫保管以外の放射性固体廃棄物の保管量及び保管容量 : 2023年6月末 現在
- 仮設集積の保管容量 : 2023年9月30日 現在
- 瓦礫類の()で記載している保管容量及び瓦礫類の想定保管量の予測値 : 2023年7月26日 認可の実施計画

※2 一部の値について端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。また、50m³未満の保管量を微量、50m³未満の増減を微増・微減と示している。

※3 []は、当該の報告と前回の報告との差を示している。

※4 エリアAA、エリアk、エリアlは、使用済保護衣等の保管も行うが、主に瓦礫類を保管するため、使用済保護衣等の保管容量からは除いている。

※5 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。

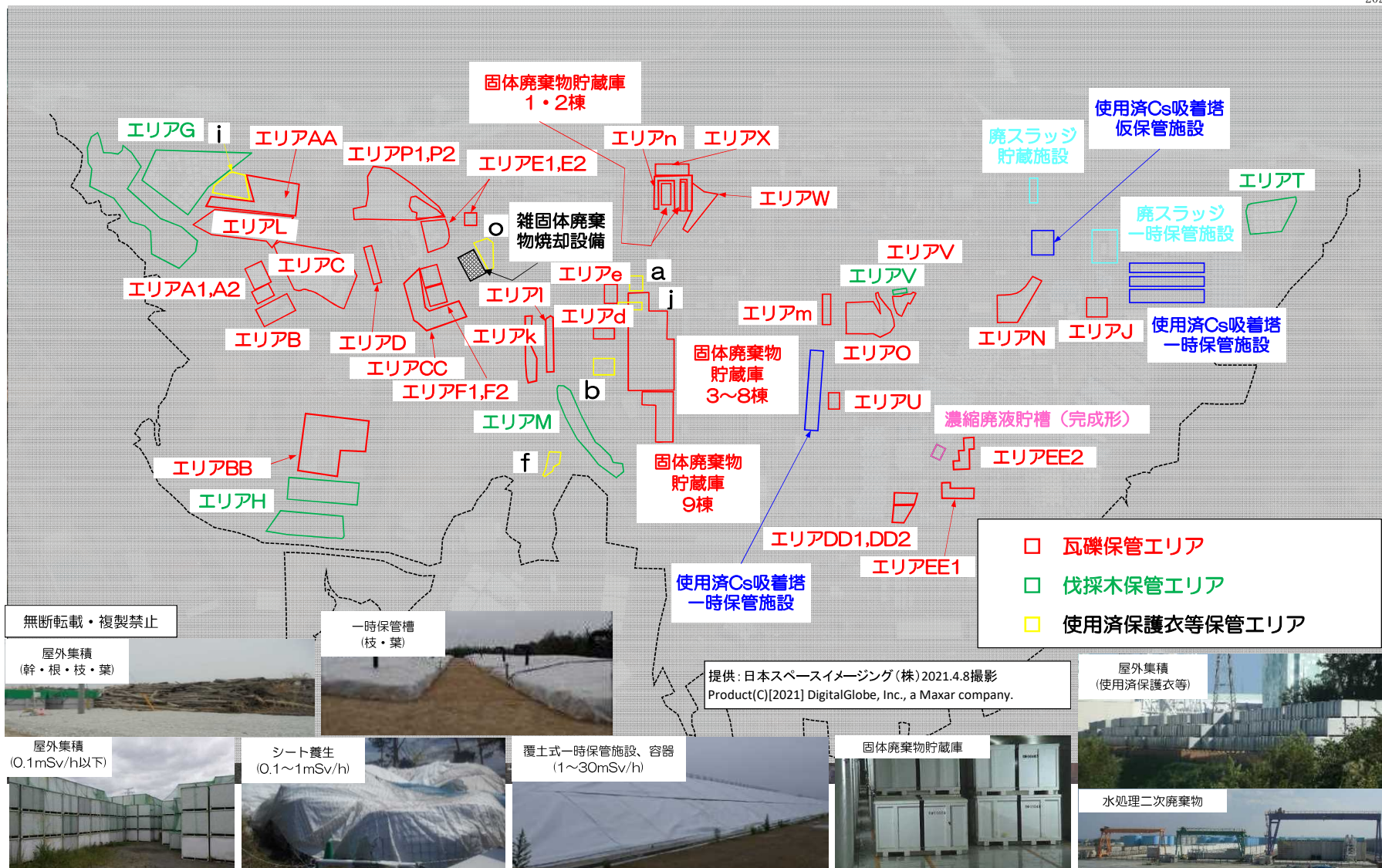
※6 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。

分析した試料の中には、C-14 (半減期: 約5.7×10³年)、Ni-63 (半減期: 約1.0×10²年)、Se-79 (半減期: 約1.1×10⁶年)、Tc-99 (半減期: 約2.1×10⁵年)、I-129 (半減期: 約1.6×10⁷年) 等が検出されているものがある。

※7 各受入目安表面線量率において、固体廃棄物貯蔵庫の保管量は除いて記載。

※8 エリアA2は低線量エリアとした(2020年1月6日認可)が、移行期間のため「-」と記載。

福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

分野名	業務内容	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	スケジュール												備考			
				9月	10月					11月	12月	1月	2月	3月	4月以降				
●ガレキ等の屋外一時保管解消（2028年度内） ●水処理二次廃棄物	保管理計画 2. 保管適正化の推進のための設備設置	一時保管エリアの変更	(実績/予定)															2023年10月20日：実施計画変更認可申請 2026年3月までの3年分の放射性廃棄物等の想定保管量を反映 一部の一時保管エリアの名称及びBEG 程度の取扱い方法を変更	
		雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・電気設備点検 (A・B系) ・冷却水循環ポンプ交換 (共通) (予定) ・処理運転 (A・B系) ・電気設備点検 (A・B系) ・冷却水循環ポンプ交換 (共通) ・年次点検 (A・B系)	(A系) 電気設備点検 (B系) 電気設備点検 (共通) 冷却水循環ポンプ交換														・2月10日排ガスフィルタB系の点検において腐食による損傷を確認、2月11日にA系についても同様の損傷を確認 ・排ガス系統各部の調査を行い、損傷部の修理は完了。A系は残りの年次点検を実施し完了 ・7月13日に冷却水循環ポンプAの地絡が発生、当該ポンプの交換後に運転再開予定 ・冷却水循環ポンプの寿命が確定し、復旧は11月中旬頃になる見通し。11月中旬に運転再開することで、使用済み保護衣等の保管に影響を与えない。 ・第4四半期に年次点検及び電気設備点検を実施予定	
		増設雑固体廃棄物焼却設備	(実績) ・処理運転 ・炉内清掃他 (予定) ・処理運転 ・電源停止 ・年次点検	処理運転 炉内清掃他														・2023年10月から炉内清掃他を実施中。10月末から処理運転を再開予定 ・電源設備点検による停止時期を9月末～10月末から、11月末～12月中旬に変更 ・2024年3月中旬から年次点検を実施予定	
		除染装置 (AREVA) スラッジ	(実績) ・スラッジ対処方法検討 ・建屋内線量低減 (予定) ・スラッジ対処方法検討 ・建屋内線量低減	スラッジ対処方法検討 建屋内線量低減														・ダスト閉じ込め機能の追加に伴い、筐体強度/耐震評価の見直しが必要になったため、詳細工程について調整中 ・干渉物撤去撤去等の線量低減対策を実施中	
		減容処理設備	(実績) ・実施計画変更 ・製作 ・現地工事、風量確認 (予定) ・実施計画変更 ・現地工事、風量調整 ・使用前検査 ・サーベイ、管理区域設定 ・運用	実施計画変更 製作 現地工事、風量調整 使用前検査 サーベイ、管理区域設定 運用														・空調/バランス不具合により、原因調査および対策を検討 ・2024年1月竣工見込み	
		固体廃棄物貯蔵庫第10棟	(実績) ・地盤改良工事 (10-C棟) ・建築工事 (10-A棟) ・建築工事 (10-B棟) (予定) ・建築工事 (10-A棟) ・建築工事 (10-B棟) ・建築工事 (10-C棟)	地盤改良工事 (10-C棟) 建築工事 (10-A棟) 建築工事 (10-B棟) 建築工事 (10-C棟)														・2024年4月：10-A棟竣工 ・2024年7月：10-B棟竣工 ・2025年3月：10-C棟竣工 ・2023年2月10日に実施計画申請の一部補正を実施 ・2023年2月21日に実施計画変更認可 ・2023年3月29日に建築工事着工	
		固体廃棄物貯蔵庫第11棟	(実績/予定) 設計検討	設計検討															2021年2月13日の地震に関する影響評価を踏まえ、追加の耐震評価を実施予定 (耐震クラスの考え方について検討中)
		大型廃棄物保管庫	(実績) ・設計検討 (予定) ・設計検討 ・建屋補強工事 ・クレーン設置工事	設計検討 (建屋補強、吸着塔架台) 建屋補強工事 クレーン設置工事														・2/13の地震に関する影響評価を踏まえ、2023年度内部工事開始、2024年度吸着塔受入開始、2025年度耐震補強完了を目標とする (2023年度内設置開始予定)	
		スラリー安定化処理設備	(実績) ・安定化処理設備の設計方針検討 (予定) ・適用性、成立性確認 ・安定化処理設備の詳細設計検討 ・建屋現地工事	安定化処理設備の設計検討 建屋現地工事														・2022年9月12日 第102回監視・評価検討会において示された「審査上の観点」を踏まえ、設計見直しを実施中 (2027年3月完了予定)	